

飯坂町商工会報

No.8



飯坂町商工会

〒960-0201 福島市飯坂町字筑前12-1
電話 (024)542-3568

平成30年2月25日(日)



十月十二日、恒例となりました視察研修旅行を茨城県那珂湊方面で実施いたしました。

今回は、死ぬまでに行きたい世界の絶景で有名になりました、国営ひたち海浜公園やアクアワールド大洗水族館、めんたいパーク等の見学を行いました。

ひたち海浜公園では、赤く色づき始めたコキアの見学を行い、大洗水族館では暖流と寒流が出会う茨城県沖の海を再現した水槽で、魚の生態について見学を行いました。

当日は天候にも恵まれ、汗ばむ陽気の中、ひたち海浜公園の一角をみんなで練り歩くことができました。時間に限りがあったため思ったように鑑賞できませんでしたが、満開のコスモスと紅葉したコキアに皆さん癒されていたようです。

会員・役員合同視察研修旅行



ごあいさつ

会報の発行にあたり皆様にご挨拶を申し上げます。常日頃より当商工会の事業運営に対しご理解・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

東日本大震災から六年十一月が経過し間もなく七年に入ろうとしています。大企業は軒並み過去最高益を更新するなど景気の良い話が聞こえてきますが、飯坂町におきましては、風評被害の影響や、インターネットの普及に伴う消費行動の変化に伴い依然として厳しい状況が続いています。

飯坂町商工会

会長 高橋 義博

本商工会といたしましても、これらの厳しい状況から脱却すべく様々な支援策を活用しながら会員の支援に取り組んでいます。特に小規模企業振興基本法が制定されてから開始された持続化補助金では、新たな販路開拓に取り組みながら経営力の向上を目指す取り組みが増えています。

これからも地域に最も近い経済団体として、より一層行政機関や各関係機関と連携しながら飯坂経済再生に向け取り組みでいく所存でございますので、今後ともご支援ご協力のごほうじをお願いいたします。

新春講演会の開催

平成三十年はじめての事業として、一月二十六日穴原温泉吉川屋にて、新春講演会を開催いたしました。講師は淡路島にある旅館の三代目として自ら事業再生に取り組み、現在は㈱アテナソリユーションの代表としてコンサルタント業を行う傍ら、中小企業庁の政策ブレンとしても活躍の立石裕明先生にお願いしました。

講演のテーマは、「真の経営者となるために勝ち残る力を学ぶ」と題し、経営力の向上を目的に実施いたしました。講師の「すべての始まりは阪神淡路大震災でした」という言葉の通り、阪神淡路大震災をきっかけに講師の運命が大きく変わります。復興の見通しも立たず、売上も無い中、六千万の借金と共に親から事業を承継します。一時は株式の上場を目指し事業を拡大させますが、リーマンショックと共に全財産を失います。

しかし、そこから学んだことがあまりにも大きく、現在のコンサルタント業に生かされています。

先生曰く、事業承継に大切なのは、「親の借金を継ぐ覚悟」と「借金を継がせる覚悟」があるかどうかだと話していただきました。後継者が若いうちに事業承継を行った会社は売上・利益ともに伸びている。経営者が生きている間にしか知恵・工夫・経験は学べない。親子間で会話するところから始めてほしいと語っていました。

利益の確保については、どんぶり勘定からの脱却が最重要課題であり、毎月、棚卸や試算表を作り管理をするだけで十分効果は期待できる。過剰仕入れを5%減らすだけで、利益が5%増える。乾いたタオルを絞るのではなく、絞ったことのないタオルを絞るのだと話されました。

自らも被災者であり、経営者でもある講師の言葉は重く、とても説得力のあるものでした。実体験に基づき熱く語られた講演会は、参加した方々を引き付け、今後の経営のあり方を考える良いきっかけになりました。

講演会終了後は、立石先生を交え例年通り新年会を開催し終了となりました。



商工会福島県大会

平成二十九年度商工会福島県大会が、去る十一月三十日、とうほう・みんなの文化センターにて開催されました。当商工会からは、職員を含め十一名が参加。

当日は、経済産業省東北経済局長をはじめ、県知事や県議会議員が出席するなど、盛大に開催されました。

その後、元ローソン・ジャパン社長、都築富士男氏による講演会が開催され、自分の経験を基に経営者の役割や課題解決のための三つの機能、変化の時代における経営者の条件等について貴重なお話を聴くことができました。



青年部 ご当地グルメPR事業

青年部では、飯坂町の魅力を盛り込んだご当地グルメで町内の活性化を目指す「ご当地グルメPR事業」を行っています。

平成二十九年度は、福島の郷土料理であるいか人参を使った「いか人参チヂミ」と青年部員の(株)安斎果樹園、(有)澤田屋、(有)一味庵のノウハウを結集した「飯坂どらりんバーガー」を開発しました。現時点ではどちらもイベント出店のみの販売になりますが、いずれは飯坂町を代表するご当地グルメになるようにPRしていきたいと思えます。

特に飯坂どらりんバーガーはお店ごとにオリジナル商品が作られるようになり、食べ歩きを楽しみむ人飯坂町が賑わうようになればと考えています。

青年部ではこれからも飯坂町活性化の活動に尽力していきます。今後も青年部活動にご理解ご協力いただけますようお願い申し上げます。



女性部 第一回女性部親善ボウリング大会

今年新たな事業として開催された「女性部親善ボウリング大会」厚生委員を中心に企画し、九月十日にからしまボウルで開催しました。

日頃の運動不足の解消と部員のコミュニケーションの場にするため、多くの方に参加していただけるように、日曜日の夕方から開催し、二十七名の方に参加していただきました。

年齢に関係なく参加できるボウリングは、誰もが楽しくプレーでき、自然と笑顔や笑い声で会場がいつぱいになりました。

参加した方からは、「日頃お会いしない方とお話しできて楽しかった」「久しぶりにボウリングをして若いころを思い出した」などの声をいただき、今後



補助金申請支援

《持続化補助金活用事例》

株式会社 円和

【取り組み事例】

新たにホームページを立ち上げることにより、福島県産の果物を全国販売するための体制を整えることができました。また、福島産の果物の良さを伝えるべく、写真については、プロのカメラマンに依頼し美しく新鮮に見えるように工夫を行いました。



【事業者の声】

持続化補助金を活用することで、経営計画の立て方を学ぶことができました。また、少ない予算でホームページを立ち上げることができ、販路拡大につながりました。

その他、三事業所の方が補助金の採択を受けています。

商工会会員募集中

飯坂町商工会は「商工会法」にて設立された特別認可法人であり、地域内商工業の経営の改善に関する相談とその指導、地域内経済振興を図るための諸活動及び社会一般の福祉の増進に資すること等を事業の目的としています。

商工業者の皆様には是非ご加入をご検討いただきましたと思います。ご一報いただければ職員がお伺いいたします。

電話 五四二―三五六八

◆経営改善普及事業

【経営】経営計画、補助金申請、販路拡大

等について専門家を活用しながら支援いたします。

【金融】事業資金についての相談・斡旋

【税務】所得税等の申告納税についての相談・指導

【経理】帳簿のつけ方や決算の仕方についての相談・指導

【労務】従業員の福利厚生、労働、社会保険・各種共済についての相談

◆地域総合振興事業

相互扶助・親睦や情報交換・福利厚生などの社会福祉活動・地域課題に対する調査研究

新会員紹介コーナー

- ◎えつこマッサージ 石川えつこ (マッサージ業) ◎錦造園 佐藤 圭吾 (造園業)
- ◎絶好鳥 安藤 富子 (飲食業) ◎はれ食堂 高嶋 尚 (飲食業)
- ◎ウメハラ内装 梅原 政晴 (内装工事業) ◎角田豆腐店 角田 昌歳 (製造業)
- ◎そば処道楽 紺野 国彦 (飲食業) ◎はせべ呉服店 長谷部仁子 (衣料品小売)
- ◎花ひろ 紺野 博文 (生花販売)

記帳代行を委託しませんか？

商工会では、インターネットを利用した経理システム「ネットde記帳」により記帳の代行業務を請け負っています。

経理の仕事や集計処理を頼みたい。忙しくて経理に手が回らない。複式簿記にして青色申告特別控除の適用を受けたいなど、日々の入力から決算までを一括して頼みたい方は、是非商工会までお問合せください。

編集後記

新年あけましておめでとございます。

毎年恒例の今年を表す漢字が「北」に決まりました。一昨年が「金」で昨年は「北」。金運が北に向かっていくとプラスに捉え、今年は「豊」な一年になってほしいものです。

当商工会といたしましても、会員の皆様が豊かになるよう微力ながら支援をさせていただきます。皆様にとって、新年が素晴らしいものであるように、心よりお祈り申し上げます。